

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

公益財団法人東京連合防火協会は、広く都民の生命、身体及び財産を火災その他の災害から守るため、防火防災思想の普及高揚と災害発生時における被害軽減及び自助・共助を含む総合行動力の向上に関する次の事業を実施しました。

I 公益事業

1 防火防災思想の普及高揚及び防災行動力の向上に関する事業

(1) 防災市民組織等の指導育成事業

ア 自主防災組織育成講習会の共催 / 6月29日 (立川防災館)

地域の防災行動力向上と「自助・共助」の意識醸成を目的とした講習会を東京消防庁と共催した。(参加人数 58名)

イ 消防少年団高校生団員研修の共催 / 11月23日 (ガスの科学館)

消防少年団高校生団員を対象に、将来の防災リーダーを育成することを目的とした研修会を東京消防庁と共催した。(参加人数 48名)

(2) 防火防災イベント等における広報活動事業

ア 防火・防災ポスター等の配布

(ア) 町会・自治会に防火防災ポスターを配布 (354,600枚)

夏の事故防止、秋の火災予防運動、文化財防火デー、春の火災予防運動の5種類のポスターを作成し配布した。

(イ) 消防のお知らせ(回覧板用)を作成し、町会を中心に配布 (612,000部)

防災週間、秋の火災予防運動、春の火災予防運動に併せて作成し配布した。

(ウ) 秋の火災予防運動ポスターの三か国語版を配布 (5,000枚)

都内在住の外国人や観光客に向け、英語、中国語及び韓国語の外国語版で作成し、グローバルな防火防災PRを展開した。

(エ) 各種広報媒体を活用した防火防災PR

① 消火栓標識広告板等を活用した防火防災PRを実施した。

② 災害時要配慮者に対する安全対策を推進するため、防火防災PR用ウェットティッシュを作成し、火災予防運動、防火防災訓練等の機会に都民・参加者に配布した。(8,480個)

③ 火災予防対策を推進するため、防火防災PR用品を作成し、火災予防運動、防火防災訓練等の機会に都民・参加者に配布した。

(A5サイズ クリアファイル 10,700枚)

- イ 防火防災標語、はたらく消防の写生会、東京消防出初式の支援等
- (ア) 防火防災標語公募事業を共催した。
都民の防火防災の参画意識を高めるため、東京消防庁と共催し、防火防災標語を募集し、優秀作品を表彰した。
 - (イ) はたらく消防の写生会を共催（参加校 1,125校 参加人数 121,373人）
子供たちの防火防災への関心を深めるため、東京消防庁と共催し、小・中学生等が消防隊員の活動風景や消防自動車などを写生する「はたらく消防の写生会」を開催し表彰した。（優秀賞 2,638点 入選 6,116点）
 - (ウ) 地域の防火防災功労賞実施事業を共催（応募数 76事例）
地域防災力の向上を図るため、東京消防庁と共催し、地震災害や風水害の自然災害、住宅火災等の未然防止や被害の軽減に係る都民、事業所等の効果的な取り組みについて優秀な団体を表彰した。
（最優秀賞 3事例・優秀賞 4事例・優良賞 10事例）
 - (エ) 広報コンクールの支援
東京消防庁が、職員の広報技術の向上を目的として開催する広報コンクールを支援した。
 - (オ) 東京消防出初式の支援
東京消防出初式を支援し、多くの都民に防火防災思想の普及促進を図った。
- (3) 防火防災に関する専門図書の出版並びに機関誌等の発行事業
消防関係者の実務資料として防火防災の専門図書（13冊）を出版するとともに、都民の防火防災思想の普及高揚を図るため、会報（年1回 4,300部）、機関誌「防災」（年4回 計 12,660部）を発行した。
- (4) 東京国際消防防災展2023への支援事業
広く都民に防火防災思想の普及等を図るため、5年に一度開催される「東京国際消防防災展2023」を後援するため、協賛金を積み立てた。
東京国際消防防災展2023実行委員会（第2回）を開催した。
- (5) 消防功労者の表彰弔意事業
- ア 消防功労者に対する感謝状、弔慰金の贈呈
防火防災思想の普及高揚に尽力した消防功労者 77名に対する感謝状及び物故者 2名に対する弔慰金を贈呈した。
 - イ 都民の消防官表彰の協賛（サンケイ新聞社主催）
都民の消防官表彰を協賛するとともに、選考委員として参画した。

2 災害時の被害軽減対策の普及及び調査研究等に関する事業

- (1) 災害時要配慮者に対する防火防災対策の調査研究及び普及事業
災害時要配慮者の団体を対象に、東京消防庁を交え、災害時の対策等について意見交換会を開催した。

- (2) 東京消防庁派遣隊等への支援事業（10万円の資金支援）
トルコ共和国で発生した地震災害に伴い消防職員の災害派遣を支援した。
- (3) 東京消防庁の来庁者に対する記念品作成を支援した。（ピンバッジ）
- (4) 地震による室内被害を軽減するため、防災訓練の参加者に配布する「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」作成を支援した。
- (5) 東京消防庁航空隊来隊者に対する記念品作成を支援した。（アポロキャップ）
- (6) 消防救助技術関東地区指導会、全国消防救助技術大会等への支援事業
精強な消防救助部隊の育成を目的として7月及び8月に開催された救助大会を支援した。

II 収益事業

1 防火防災普及用物品の販売並びに消防施設整備利用に関する事業

- (1) 防火防災普及用物品の販売事業
都民の防火防災思想の普及高揚を図るため、防火防災普及用物品を販売した。
- (2) 消火栓標識の建植等消防環境の整備促進事業
地域の火災被害の軽減に資するため、消火栓標識の建植及び維持管理を実施した。

III その他の事業

1 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- (1) 協会の運営管理事業
理事会・評議員会を定期・臨時に開催した。
- (2) 会員等の連携交流事業
「新年交歓会」を開催し、会員相互の親睦と他団体との連携交流を図る予定だったが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて開催を中止した。
- (3) ホームページの再構築
ホームページに係るインターネット上のセキュリティーが脆弱であったため、セキュリティーの強化等ホームページの再構築を実施し、情報公開を始めとする協会の広報及び収益事業の効率化を図った。